

## 平成 30 年 豊岡市賀詞交換会 議長新年あいさつ

皆様、あけましておめでとうございます。

豊岡市議会議長の嶋崎宏之でございます。

皆様には、輝かしい新年の幕開けをご家族お揃いでお迎えになられたことと、心からお慶びを申し上げます。

また、日頃は市議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜っておりますことに、この場を借りて厚くお礼を申し上げます。

昨年 10 月には市議会議員選挙がありました。そして合併後 5 期目の議会がスタートしております。今後 4 年間、我々議員一同一丸となって皆さまの大きな負託に応えるべく、誠心誠意暮らしやすいまちづくりのために精進してまいりたいと思っておりますので、何卒よろしくお願いを申し上げます。

昨年は 9 月に台風 18 号がまいり、10 月には台風 21 号、その後台風 22 号とたて続けに本市に接近してまいりました。それで被害の方も出たんですけども大きな被害ではなかったのですが、かなりの被害が出てしまいました。被災されました皆様には、心からお見舞いを申し上げます。

近年は海水温の上昇等により、台風が非常に大型化し長寿化してまいりました。線状降水帯が多発をしておりますし、そして記録的短時間大雨情報が頻発しております。全国各地で河川の氾濫や土石流、土砂災害が後を絶ちません。また突風、竜巻など瞬間最大風速の猛烈化ということで極端気象がますます顕著になってきております。

さらに、10Km 程度の浅い震源の大型地震が頻発しております。災害に対する考え方を我々も見直していかなければならないような時代になってきたのではないかと思います。

また、嬉しいニュースが昨年はございました。3 月には念願でありました城崎大橋の架け替え事業の着工、そして本市初めてとなる高速道路北近畿豊岡自動車道八鹿日高道の開通、そして山陰近畿自動車道浜坂道路の供用開始、それから 4 月には地域づくりの拠点として、市内 29 地区におきまして新しい地域

コミュニティがスタートいたしました。

今年も地方創生の中心課題であります人口減少対策にしっかりと取り組んでまいらねばなりません。

具体的には、減少要因そのものに手を付けることをございます。

例えば、定住する若者を増やしていく、あるいは結婚する若者を増やしていく、それらを中心に据えて取り組んでいかなければなりません。さらに地域の活力を高めて維持していくことも絶対的に必要でございます。これらを今年が大きな岐路になると思いますので、市民の皆さま、議会そして市当局が三位一体となって力を結集し共に頑張ってまいらねばならないと思っています。どうか皆様のご理解ご協力のほどよろしくお願いを申し上げます。

結びになりましたけども、皆様にとりましてこの一年間が幸多い素晴らしい年になりますことを祈念申しあげまして終わりたいと思います。

今日は豊岡市功労者表彰を受賞されます方がたくさん見えておられます。本当におめでとうございます。

これで挨拶とさせていただきます。

失礼します。